

2 年齢構成（平成 23 年 10 月 1 日現在）

年少人口割合（13.7%）と老年人口割合（26.7%）の差がさらに広がる

表2 年齢3区分別人口の推移

(人)

年次	総数	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)
昭和25年	2,060,831	717,248	1,228,134	115,390
昭和30年	2,021,292	655,386	1,234,427	131,461
昭和35年	1,981,506	571,749	1,267,103	142,581
昭和40年	1,958,007	484,702	1,315,337	157,968
昭和45年	1,956,917	449,533	1,323,665	183,719
昭和50年	2,017,564	464,427	1,337,660	215,328
昭和55年	2,083,934	468,613	1,362,192	253,120
昭和60年	2,136,927	446,549	1,398,750	291,617
平成 2年	2,156,627	392,889	1,416,125	347,206
平成 7年	2,193,984	355,267	1,421,782	416,608
平成12年	2,215,168	334,306	1,404,575	475,127
平成17年	2,196,114	316,368	1,356,317	521,984
平成22年	2,152,449	295,742	1,281,683	569,301
平成23年	2,144,344	292,171	1,276,008	570,442

注) 1 総数には、年齢不詳を含みます。

2 昭和25年から平成22年までは国勢調査結果によります。

(各年10月1日現在)

平成 23 年 10 月 1 日現在の総人口は 2,144,344 人で、これを年齢3区分別にみると、0～14 歳の年少人口が 292,171 人、15～64 歳の生産年齢人口が 1,276,008 人、65 歳以上の老年人口が 570,442 人となっており、それぞれ総人口の 13.7%、59.7%、26.7%となっています。

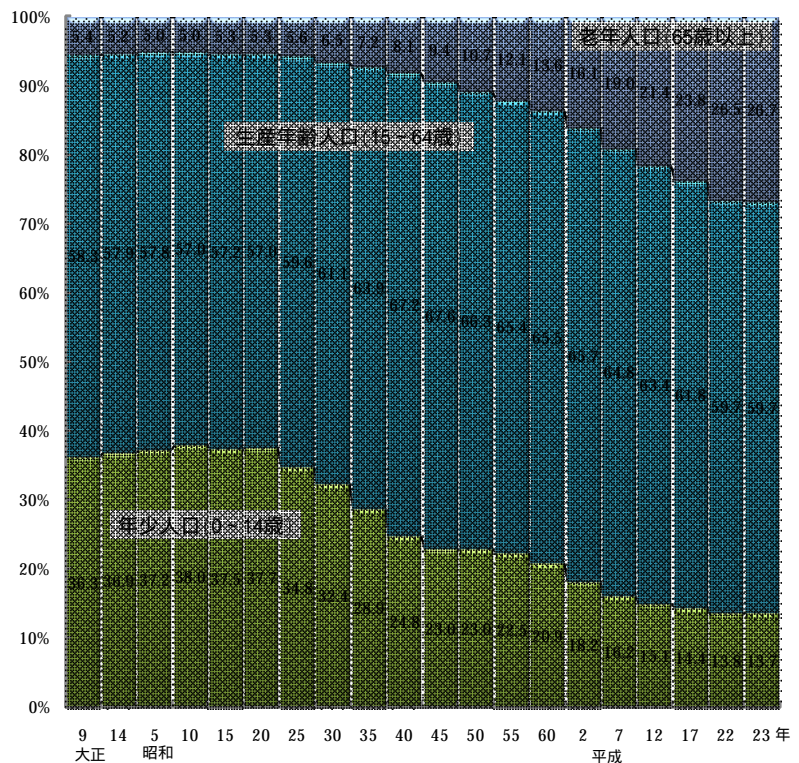
平成 22 年 10 月 1 日現在の調査結果と比較すると、この 1 年間に年少人口は 3,571 人、生産年齢人口は 5,675 人とそれぞれ減少し、老年人口は 1,141 人の増加となりました。(表2)

また、総人口に占める割合を見ると年少人口は 0.1 ポイント低下し、老年人口は 0.2 ポイント上昇しました。(図3、表3)

年齢3区分別人口割合を昭和 25 年以降についてみると、年少人口割合はほぼ一貫して低下している反面、老年人口割合は一貫して上昇しています。また、生産年齢人口割合は、昭和 45 年まで上昇した後、昭和 50 年、55 年は低下、昭和 60 年、平成 2 年は上昇と、上昇と低下を繰り返しましたが、その後は一貫して低下傾向にあります。

なお、平成 23 年 10 月 1 日の老年人口割合は大正 9 年(第 1 回国勢調査)以降の最高を記録し、年少人口割合との差は更に広がりました。(図3、表3)

図3 年齢3区分別人口割合の推移



昭和20年は11月1日、他は10月1日現在

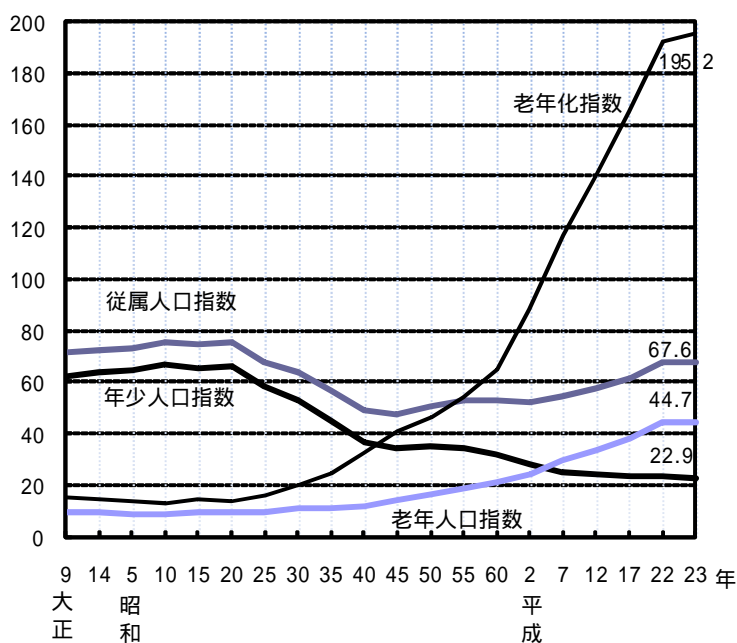
急速に進む高齢化社会

生産年齢人口に対する扶養負担度を示す年齢構造指数の推移をみると、年少人口指数は昭和 25 年以降急速に低下している反面、老年人口指数は一貫して上昇しています。

平成 23 年 10 月 1 日現在では、1 年前と比較して年少人口指数は 0.1 ポイント低下、老年人口指数は 0.2 ポイント上昇しています。

また、人口の高齢化を鋭敏に示す老年化指数は、195.2 で 1 年前に比べ、2.7 ポイント上昇しており少子高齢化が引き続き進行しています。（図4、表3）

図4 年齢構造指数の推移



昭和20年は11月1日、他は10月1日現在

年齢3区分別人口割合を全国と比較すると、平成 23 年 10 月 1 日現在で、本県は年少人口割合が 0.5 ポイント、老年人口割合が 3.3 ポイントそれぞれ高く、生産年齢人口割合は 3.8 ポイント低くなっています。（表3）

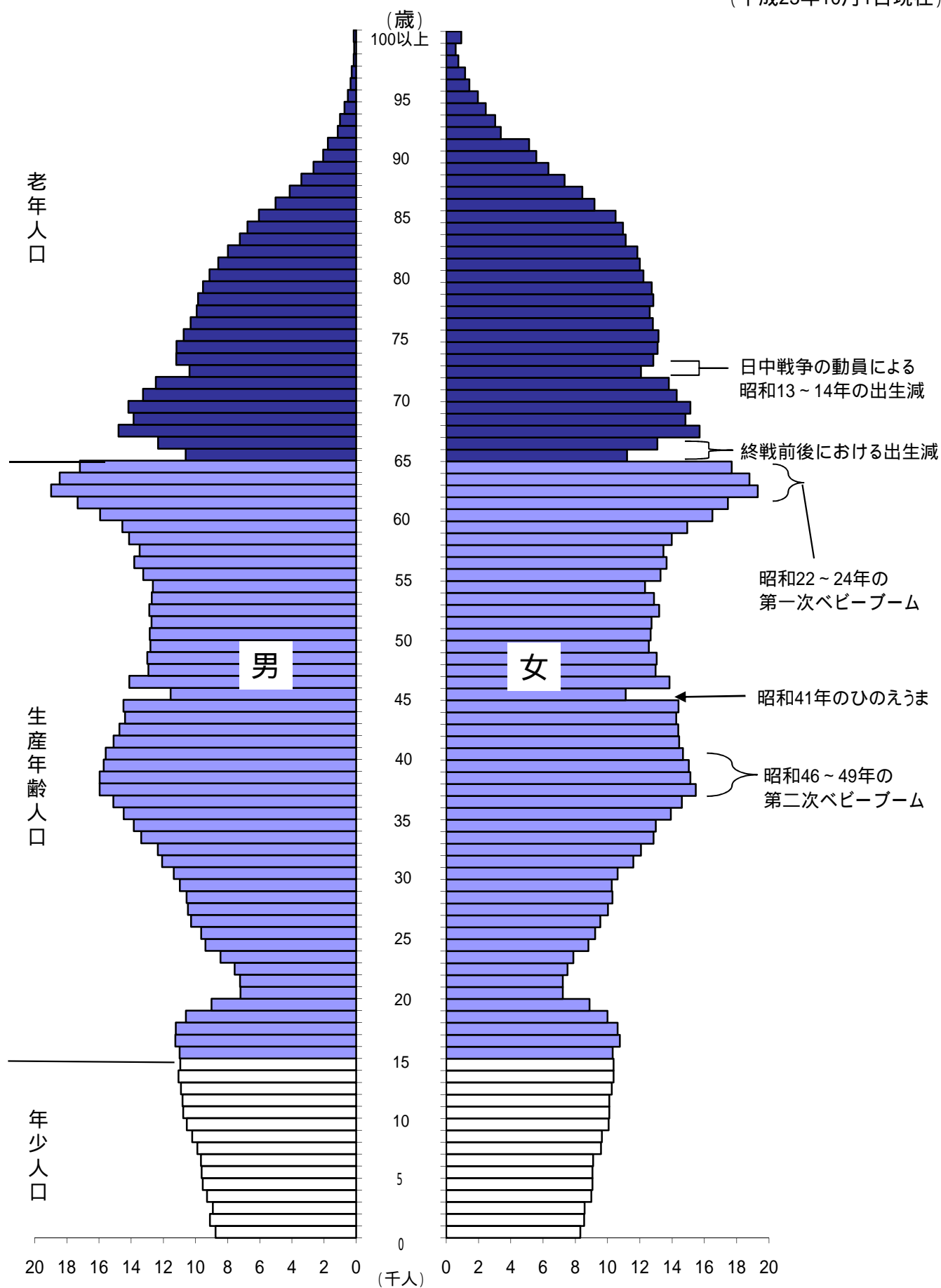
表3 年齢3区分別人口割合・年齢構造指数の推移(県・全国)

年次	年齢3区分別人口割合(%)								年齢構造指数							
	年少人口 (0～14歳)		生産年齢人口 (15～64歳)		老年人口 (65歳以上)		(75歳以上)		年少人口指数		老年人口指数		従属人口指数		老年化指数	
	長野県	全国	長野県	全国	長野県	全国			長野県	全国	長野県	全国	長野県	全国	長野県	全国
	長野県	全国	長野県	全国	長野県	全国	長野県	全国	長野県	全国	長野県	全国	長野県	全国	長野県	全国
昭和25年	34.8	35.4	59.6	59.7	5.6	4.9	1.3	1.3	58.4	59.3	9.4	8.3	67.8	67.5	16.1	14.0
昭和30年	32.4	33.4	61.1	61.3	6.5	5.3	1.8	1.6	53.1	54.4	10.6	8.7	63.7	63.1	20.1	15.9
昭和35年	28.9	30.0	63.9	64.2	7.2	5.7	2.1	1.7	45.1	46.8	11.3	8.9	56.4	55.7	24.9	19.1
昭和40年	24.8	25.6	67.2	68.1	8.1	6.3	2.5	1.9	36.9	37.6	12.0	9.2	48.9	46.8	32.6	24.6
昭和45年	23.0	23.9	67.6	69.0	9.4	7.1	2.8	2.1	34.0	34.7	13.9	10.2	47.8	44.9	40.9	29.5
昭和50年	23.0	24.3	66.3	67.7	10.7	7.9	3.4	2.5	34.7	35.9	16.1	11.7	50.8	47.6	46.4	32.6
昭和55年	22.5	23.5	65.4	67.4	12.1	9.1	4.3	3.1	34.4	34.9	18.6	13.5	53.0	48.4	54.0	38.7
昭和60年	20.9	21.5	65.5	68.2	13.6	10.3	5.3	3.9	31.9	31.6	20.8	15.1	52.8	46.7	65.3	47.9
平成2年	18.2	18.2	65.7	69.7	16.1	12.1	6.6	4.8	27.7	26.2	24.5	17.3	52.3	43.5	88.4	66.2
平成7年	16.2	16.0	64.8	69.5	19.0	14.6	7.7	5.7	25.0	23.0	29.3	20.9	54.3	43.9	117.3	91.2
平成12年	15.1	14.6	63.4	68.1	21.4	17.4	9.6	7.1	23.9	21.4	33.4	25.5	57.3	46.9	139.5	119.1
平成17年	14.4	13.8	61.8	66.1	23.8	20.2	12.1	9.1	23.3	20.8	38.5	30.5	61.8	51.3	165.0	146.5
平成22年	13.8	13.2	59.7	63.8	26.5	23.0	14.2	11.1	23.1	20.7	44.4	36.1	67.5	56.8	192.5	174.0
平成23年	13.7	13.2	59.7	63.5	26.7	23.4	14.5	11.6	22.9	20.7	44.7	36.8	67.6	57.5	195.2	177.3

注) 全国は、平成22年までは国勢調査結果、平成23年は総務省統計局公表の人口推計によります。(平成23年は概算値です)
(各年10月1日現在)

図5 年齢各歳別人口ピラミッド

(平成23年10月1日現在)



老年人口割合は39市町村で30%を超える

年齢3区分別人口割合を、市町村別に1年前(平成22年10月1日現在)と比較すると、年少人口は12町村で上昇、8市町村で横ばい、57市町村で低下しました。

生産年齢人口割合は、35市町村で上昇、7市町村で横ばい、35市町村で低下しました。

老年人口割合は、48市町村で上昇、5市町村で横ばい、22町村で低下し、30%を超える市町村数は39(前年41)となりました。(表4、表5、図6)

表4 年齢3区分別人口割合・老年化指数の上位・下位市町村

順位	年少人口 (0～14歳)		生産年齢人口 (15～64歳)		老年人口 (65歳以上)		老年化指数	
	市町村	割合(%)	市町村	割合(%)	市町村	割合(%)	市町村	指数
1	宮田村	16.4	川上村	64.3	天龍村	54.4	天龍村	891.8
2	下條村	16.4	南箕輪村	64.0	大鹿村	50.6	大鹿村	587.8
3	南箕輪村	16.1	白馬村	63.7	栄村	46.5	栄村	534.0
4	高森町	16.1	御代田町	62.7	売木村	45.2	根羽村	533.0
5	山形村	15.3	塩尻市	62.3	根羽村	44.7	小川村	450.7
6	御代田町	15.1	松本市	62.1	小川村	42.3	売木村	437.9
7	箕輪町	14.6	軽井沢町	61.8	麻績村	40.8	麻績村	435.4
8	駒ヶ根市	14.6	山形村	61.5	阿南町	39.8	北相木村	419.2
9	茅野市	14.5	箕輪町	61.5	生坂村	39.6	生坂村	392.3
10	喬木村	14.5	南牧村	61.3	北相木村	38.3	阿南町	389.9
68	上松町	10.2	南相木村	50.6	宮田村	24.7	下條村	174.2
69	生坂村	10.1	生坂村	50.3	茅野市	24.5	塩尻市	171.9
70	筑北村	9.9	阿南町	50.0	白馬村	24.0	高森町	171.6
71	小川村	9.4	麻績村	49.8	箕輪町	23.9	松本市	169.1
72	麻績村	9.4	小川村	48.3	塩尻市	23.8	茅野市	168.8
73	北相木村	9.1	根羽村	46.9	松本市	23.8	箕輪町	163.8
74	栄村	8.7	栄村	44.8	川上村	23.3	山形村	151.3
75	大鹿村	8.6	売木村	44.5	山形村	23.2	宮田村	150.2
76	根羽村	8.4	大鹿村	40.8	御代田町	22.1	御代田町	146.4
77	天龍村	6.1	天龍村	39.5	南箕輪村	19.9	南箕輪村	123.8

(平成23年10月1日現在)

表5 老年人口の割合別市町村数の推移

割合(%)	平成7年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
15.0未満	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15.0以上20.0未満	34	12	11	10	7	6	1	1	1	1	1	1	1
20.0以上25.0未満	39	37	35	36	32	33	30	27	20	16	12	10	9
25.0以上30.0未満	25	37	37	32	33	30	23	22	28	29	30	25	28
30.0以上35.0未満	12	17	17	22	24	26	20	14	12	14	15	19	20
35.0以上40.0未満	9	12	13	10	12	10	12	8	10	12	11	13	12
40.0以上	0	5	7	10	10	12	8	9	10	9	11	9	7
計	120	120	120	120	118	117	94	81	81	81	80	77	77

(各年10月1日)

平成 23 年 10 月 1 日現在

